

第7章 街づくり 第5節 上水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
上下水道局総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	H29年度は前年度に比べ実施校も倍増し、目標校数も達することができた。また、数字だけではなく、事務局としても先生役の職員を巻き込んで計画的に取組み、授業にもより興味を持ってもらえるよう工夫を凝らした。職場に届けられたアンケートからは、充実した授業を提供したことが伺われる言葉が随所に見られた。	H29年度に改善した点	無	無		
		自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	0千円	18千円	市内小学校数 実施校数	出前教室実施校数	小学校学習指導要領では、水道・電気・ガスのいずれか、また、ごみ・下水道のいずれかを選択して取り上げることとされているため、より多くの学校で水道・下水道を学習し、それに役立ててもらおうと、実施校数を指標とする。目標値は、前年度実績よりも増やすこととする。				H29年度に改善した点				
		根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)			実績	H28年度目標			H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析	H29年度に改善した点
		特になし	10千円	7千円	32校	8校	6校	目標達成済			H29年度に改善した点				
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	12校	12校	12校				H29目標値が未達成の理由・分析			H29年度に改善した点	
		水道及び下水道の理解を深めようとともに、生活に欠かせない水が限りある資源であることや形を変えながら陸・海・空を循環していること(水の循環)などを知ることにより、水の大切さに気付き、さらには地球の環境保全に対する意識を高めてもらうことを目的とし、市内の小中学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、上下水道に関する授業を行う。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度に改善した点	
期間	H28年度～	0.73人	0.00人						H29年度に改善した点						
		6,260千円	0.00人					評価者							
		5,430千円	0.00人					総務課長 磯 稔							
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、清掃及び機能診断については一定の成果を挙げていると考えている。今後も適正揚水(揚水量10,000m ³ /日)により、取水井の保全に努めていきたい。	H29年度に改善した点	無	無		
		優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	8,932千円	5,997千円	取水井の清掃及び機能診断	取水井の清掃及び機能診断実施箇所	取水井の清掃及び機能診断を毎年2箇所実施し、機能維持及び水質保全を図る。			H29年度に改善した点				
		根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標			H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析	H29年度に改善した点
		水道法	8,964千円	6,588千円	2箇所	2箇所	2箇所	目標達成済			H29年度に改善した点				
		事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	2箇所	2箇所	2箇所				H29目標値が未達成の理由・分析			H29年度に改善した点	
		取水井(35箇所)の清掃及び機能診断を毎年2箇所実施する。取水井の機能維持及び水質保全のため揚水量10,000m ³ /日で運用する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度に改善した点	
期間	H5年度～	5.75人	0.00人						H29年度に改善した点						
		49,306千円	0.00人					評価者							
		4.55人	0.00人					給水管理課長 村田 孝之							
		38,607千円	0.00人												
水道建設課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	H29年度は目標年間距離を十分達成している。	H29年度に改善した点	無	有		
		優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	2,960,118千円	2,261,259千円	配水管の更新延長 配水管の布設延長	整備された配水管延長	布設及び更新延長の合計(単年度)			H29年度に改善した点				
		根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標			H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析	H29年度に改善した点
		水道法、所沢市水道事業給水条例	3,540,410千円	3,313,801千円	19,279m	152,600m	16,599m	目標値である「152,600m」は10年間の布設・更新延長の目標となる。H29度は目標距離「18,000m」に対して、施工実績が「20,076m」であるため目標を達成している。			H29年度に改善した点				
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	797m	152,600m	20,076m				H29目標値が未達成の理由・分析			H29年度に改善した点	
		(目的)市内全域に安定的に水を供給するとともに災害に強い施設とするため、老朽管の更新や水道管の容量不足による出水不良の改善を実施している。 (内容)老朽化が進んでいる水道管について、耐久性のあるダグタイプ鋼鉄管に更新すること及び配水本管の未整備路線(既存給水管の老朽箇所及び出水不良箇所)について、耐久性のあるダグタイプ鋼鉄管を新たに布設する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度に改善した点	
期間	S10年度～	16.30人	0.00人						H29年度に改善した点						
		139,773千円	0.00人					水道建設課長 松山 幹明							
		17.00人	0.00人												
		144,245千円	0.00人												
窓口サービス課	実施計画ランク	事業の種類別	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値にはやや劣るものの、口座振替率が微増傾向にあり、一定の成果があげられたと考えている。今後も、徴収経費の削減に向け、事業に取り組んでいく。	H29年度に改善した点	無	無		
		優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	0千円	0千円	納入通知書戸数 口座振替登録戸数	口座振替率 (口座振替件数 / 給水戸数 × 100)	H28年度に実施した「加入促進の案内文書、口座振替依頼書及び返信用封筒の検針時ポスティング」で利用者への周知が一巡したと思われるため、前年より目標値を抑え、設定した。			H29年度に改善した点				
		根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標			H28実績			H29目標値が未達成の理由・分析	H29年度に改善した点
		地方公営企業法・水道法・所沢市水道事業給水条例	146千円	74千円	44,000件	73.00%	72.87%	H28年度に実施した「加入促進の案内文書、口座振替依頼書及び返信用封筒の検針時ポスティング」で利用者への周知が一巡したと思われるため			H29年度に改善した点				
		事業の目的及び具体的な内容	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	121,000件	74.50%	73.51%				H29目標値が未達成の理由・分析			H29年度に改善した点	
		収納に伴う費用が安価である口座振替への加入を促進し、中長期的に費用の削減を図ることを目的とする。 口座振替の新規加入者を対象とした景品抽選を実施 口座振替案内ポスター・卓上のぼりを作成し、金融機関窓口・市民課・各まちづくりセンター・UR等に掲示し、広く市民に広報普及啓発活動を実施 検針時に口座振替を促進する啓発文書を配付	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合										H29年度に改善した点	
期間	H29年度～	0.00人	0.00人						H29年度に改善した点						
		0千円	0.00人					評価者							
		0.10人	0.00人					窓口サービス課長 守谷 秀明							
		849千円	0.00人												

第7章 街づくり 第5節 上水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	共有管布設替えを積極的に行っている。また、管洗浄事業が進み、濁水発生の減少が見られる。	H29年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	167,911千円	122,660千円	給水管布設替延長 管洗浄	有収率 有収水量 ÷ 配水量 × 100	早期修繕等により漏水量を減らすように対応している								
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標	H28実績						H29目標値が未達成の理由・分析	
	水道法、所沢市水道事業給水条例	161,640千円	122,693千円		508m	H29年度目標									H29実績
	事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	56,718m			H30年度目標	H30実績						漏水件数は、前年度に対し多少の増減はあるが、長期的には減少傾向になっていることから、今後も高い有収率を維持していきたい。	
	期間	S57年度～	安全安心して利用できる水の安定供給を行うため、老朽化した水道管の早期修繕等によって、水道施設の保全と有収率の向上を目指す。		H28非常勤特別職	H28臨時職員									100%
				21.65人	0.00人										
				H29非常勤特別職	H29臨時職員	100%	96.86%								
				185,649千円	0.00人										
	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	100%												
9.60人	0.00人														
H29非常勤特別職	H29臨時職員														
81,456千円	0.00人														
給水管理課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果を上げていると考えている。水道施設の基幹施設である配水池等の耐震対策を施すことにより、災害に強く、安全で安心な配水を持続できるよう努めていきたい。	H29年度に改善した点	無	無		
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	154,624千円	128,877千円	耐震診断 耐震補強工事	配水池の耐震化率 (耐震対策の施された配水池の有効容量 ÷ 対象配水池等の有効容量) × 100	耐震化を進めることが当該事業の目的となっているため、耐震化率を指標とする。								
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	実績			H28年度目標	H28実績						H29目標値が未達成の理由・分析	
	水道法、水道施設の技術的基準を定める省令	98,216千円	91,864千円		1池	H29年度目標									H29実績
	事業の具体的な内容及び目的	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	1池			H30年度目標	H30実績						目標達成済	
	期間	H21年度～	配水池等(13池・総有効水量92,000m³)の耐震診断を順次行い、その結果に基づき耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、耐震化する。		H28非常勤特別職	H28臨時職員									71.70%
				5.50人	0.00人										
				H29非常勤特別職	H29臨時職員	71.70%									
				47,163千円	0.00人										
	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合													
3.90人	0.00人														
H29非常勤特別職	H29臨時職員														
33,092千円	0.00人														
経営課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成29年度は、既存建物の解体工事設計業務をはじめ、地歴調査や不動産鑑定評価など、貸付に向けて準備を進めた。また、コンサルタント業者と契約を締結し、基本計画書・募集要綱の策定支援、住民説明への補助を受けた。平成30年度にて民間事業者等に貸付けを開始できるよう、努める。	H29年度に改善した点	無	無		
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	0千円	0千円	当該事業支援業務の委託 量水器等の保管倉庫建築	月額賃料	未利用地を民間事業者等に貸付けることにより資産の有効活用を図り、収益を確保することを目標としている。目標値としては、最低月額賃料を100%として設定する。								
	根拠法令	H29予算現額	H29決算額(見込み)	既存建物解体工事に係る設計業務の委託			H28年度目標	H28実績						H29目標値が未達成の理由・分析	
	事業の具体的な内容及び目的	74,727千円	69,313千円		実績	H29年度目標									H29実績
	期間	H29年度～	本事業は、量水器等の倉庫や駐車場・駐輪場として利用している旧水道庁舎について、更地化して敷地を普通財産として貸し付けることにより、経済的活用を図るものである。	H28正規職員人件費			H28その他職員従事割合	平成30年度にて未利用地の貸付けを開始する。						855,000円 (1か月当たり)	
				0.00人	0.00人										
				H29非常勤特別職	H29臨時職員										
				0千円	0.00人										
	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合													
	0.55人	0.00人													
H29非常勤特別職	H29臨時職員														
4,667千円	0.00人														